

志村墨然人

すみがき

「墨描・中国人強制連行の凶展」

日時 2008年5月21日(水)〜24日(土) 午前10時〜午後7時

入場無料

会場 龍谷大学深草学舎 学友会館多目的交流室(京阪・深草/地下鉄・くいな橋)



人として忘れてならない歴史がある

プレ・シンポジウム開催!! 「日中の真の和解のためにー中国人強制連行を考えるー」

日時 2008年5月17日(土)午後6時〜8時45分

会場 ハートピア京都(地下鉄丸太町下車すぐ)

<内容>※シンポジウムは参加費として資料代の1,000円が必要となります。あらかじめご了承ください。●司会 中村 尚司氏(龍谷大学研究フェロー)

●記録映像上映(5分) ●はじめに 田中 宏氏(龍谷大学教授)「この企画に託すこと」 ●挨拶 中華人民共和国駐大阪総領事館

●講演「歴史と向きあうということ」 ●講師 野中 広務氏((社)日中友好協会名誉顧問、元内閣官房長官)

●発題 菅原 鈞氏(東京浅草運寺前住職)「中国人殉難者遺骨送還のはじまり」/ 志村 墨然人氏(画家)「なぜ描くことにしたのか」

川田 繁幸氏(NPO花岡平和記念会理事長)「花岡記念館建設に向けて」

●発起人 小巻みつじ(京都日中問題時事懇談会代表) 佐々木道博(京都総合研究所) 白西紳一郎((社)日中協会理事長) 高山寛(前日中友好親善京都府議会議員連盟会長) 田中彰寿(京都府日中友好協会理事長) 田中宏(龍谷大学教授) 鄭正勝(京都華僑総会会長) 中村尚司(龍谷大学研究フェロー) 方蘇春(西日本新華僑華人連合会会長) 水谷幸正(京都府日中友好協会会長) 林同春(神戸華僑総会名誉会長) 若原道昭(龍谷大学学長) <五十音順・08年3月31日現在>

●後援 中華人民共和国駐大阪総領事館 京都府日中友好協会 京都華僑総会 西日本新華僑華人連合会 京都地区中国人留学生聯誼会 「中国受害劳工聯誼会連合」を支える会(準) 滋賀県日中友好協会 与謝野町日中友好協会 京都日中問題時事懇談会

●連絡先 龍谷大学深草学舎田中宏研究室 TEL/FAX 075-645-8561

「墨絵・中国人強制連行の図」展とシンポジウム開催の呼びかけ

—遺骨送還55周年、人として忘れてならない歴史があります！—

「1894年から半世紀にわたって、日本軍国主義者の中国侵略により、中国人民はきわめてひどい災難を蒙り、日本人民も大きな損害を受けました。前の事を忘れることなく、後の戒めとする〔前事不忘、後事之師〕といいます・・・」。これは、1972年9月、日中国交回復時の田中角栄首相歓迎宴における周恩来総理の挨拶の一節です。その周総理は1年半の日本留学を終える際「雨中嵐山」（1919年4月）を残しており、日中国交正常化後にその詩碑が京都・嵐山に建てられたことはご存知の通りです。

この京都の北部、与謝野町（旧加悦町）の日本冶金・大江山鉱山には、主として河南省から強制連行された200人の中国人が重労働を強いられ、そのなかで12人の命が失なわれました。その地に建つ「日本中国悠久平和友好之碑」では、毎年、京都府日中友好協会によって「日中不再戦・平和祈願祭」が行われています。

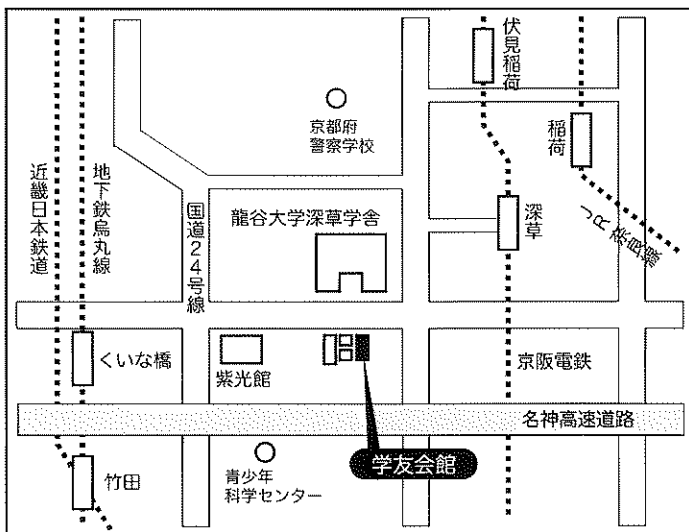
戦時中、日本国内の労働力不足を補うために約4万人の中国人が日本各地の135事業所に連行され、過酷な労働のなかで6830人が生命を奪われました。当時、北海道の鹿島組玉川事業所の中国人収容所で管理人を命じられた志村墨然人さん（85）は、目撃した中国人の惨状を、慙愧の思いに駆られて、「自分が記録しなければ」と10数年前から墨絵に描きつけてきました（中には3.6×2mのもの）。いずれも迫真力を備えていて、見る人を圧倒します。丸木位里・俊夫妻の「原爆の図」に対比して、「墨絵・中国人強制連行の図」といえるものです。

これらの墨絵は、今まで、花岡事件の現地（秋田県大館市）、北京での花岡蜂起60周年記念式、天津の「在日殉難烈士・勞工纪念馆」、台湾での「中国人強制連行と戦時性暴力」シンポジウムなどで、その一部が展示されただけです。そこで、今回この京都の地で、その墨絵20数点を一堂に展示するとともに、関連資料の紹介、さらに記念シンポジウムを持ちたいと思います。

今年は、日中平和友好条約締結30周年にあたり、また民間の日中友好人士と在日華僑の手で、日本で亡くなった中国人殉難者の遺骨が中国に初めて送還されて55年目にあたります。そして昨春、中国人強制連行事件の初の最高裁判決となった西松・広島訴訟では、請求は棄却されたものの、「上告人（西松建設）を含む関係者において、本件被害者らの被害の救済に向けた努力をすることが期待される」との勧告がなされました。それをどう実現するかという課題もあります。

そこで、次のような日程でシンポジウム及び「墨絵・中国人強制連行の図」展を開催したいと思いますので、多くの方々のご参加、ご協力をお願いいたします。

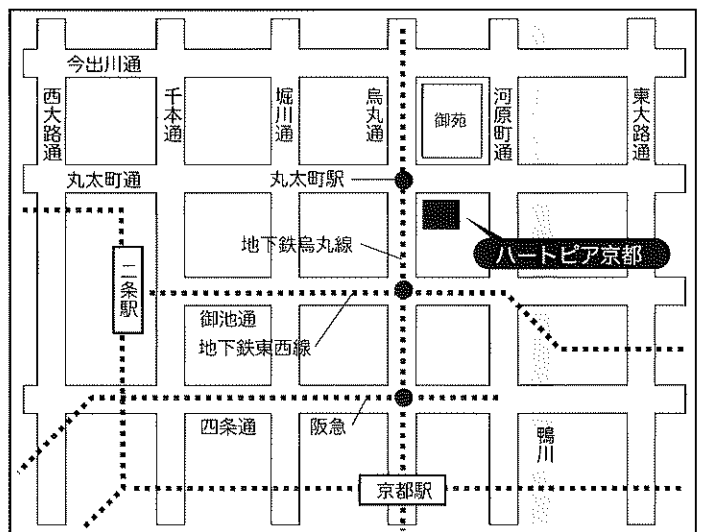
<「墨絵・中国人強制連行の図」展会場>



龍谷大学深草学舎 学友会館多目的交流室

- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約10分
- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪「四条」駅から淀屋橋方面へ「深草」駅下車、西へ徒歩約3分

<プレ・シンポジウム会場>



ハートピア京都

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5番出口
（地下鉄連絡通路にて連結）
- 京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車
烏丸通り沿い南へ